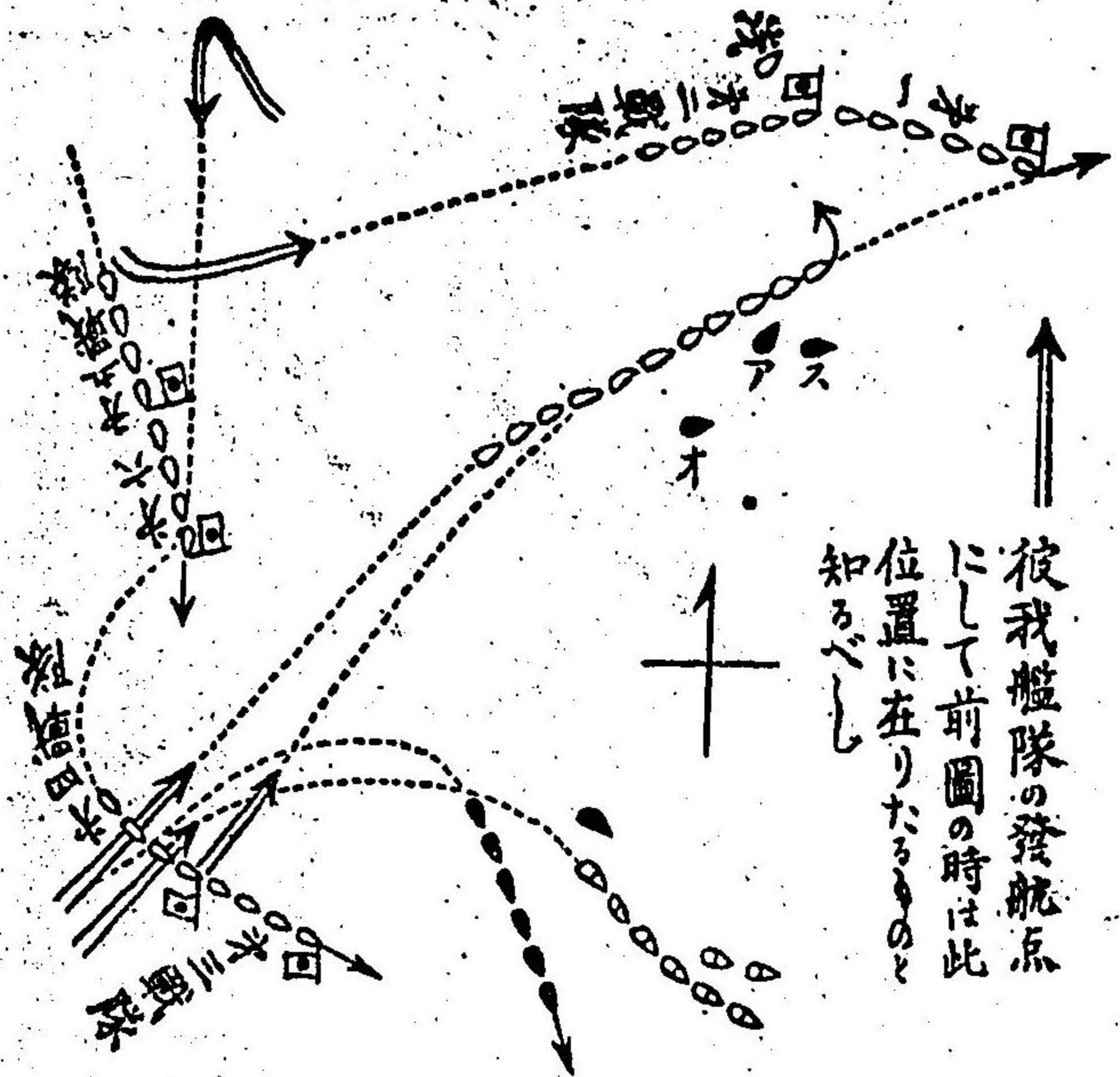


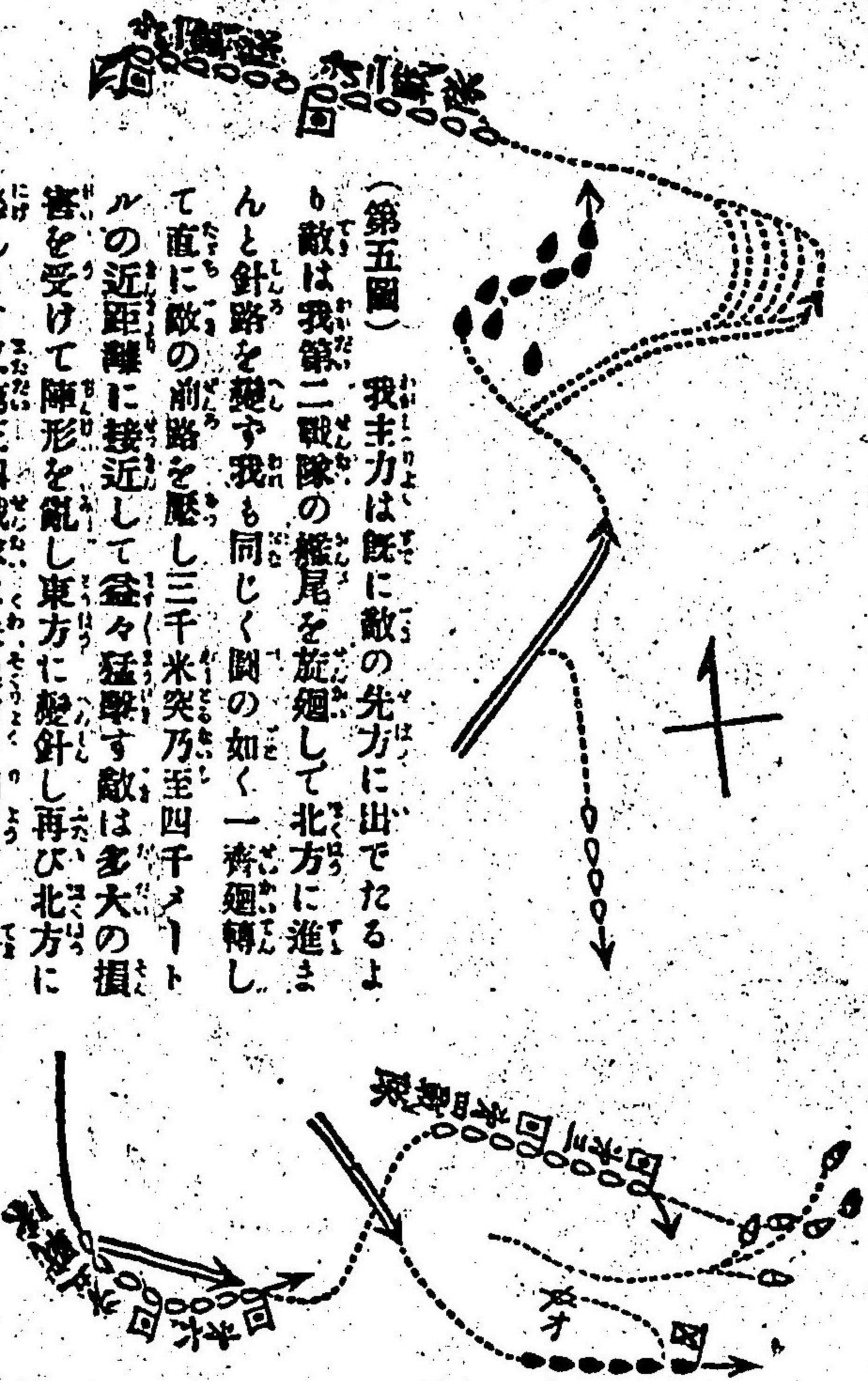
(第四圖)

敵は我主力艦隊を發見するや特務艦と病院船を南方に放ち巡洋艦七隻をして護衛せしめ主力艦隊は強行通過せんとす之に於て我は豫定の如く第一第二戰隊の主力を以て敵の先頭を壓迫し距離六千米突に於て發砲す敵の先頭オスラビヤは火災を起して戰列を出で續て「スワロフ」(アレンキサンダ)二艦も大損害を蒙り共に戰列を放りたり此時我淺間も同じく損害の爲め一時列外に出づ又第三四戰隊は敵の艦尾を旋廻して巡洋艦及特務艦を砲撃す第五六戰隊はまだ戰列に入らず



彼我艦隊の發航点にして前圖の時此位置に在りたるものを知るべし

艦尾を旋廻し四千乃至三千メートルに迫り猛撃す特務船の如きは右往左往に散亂し全く陣形を亂す此時敵の戦艦四隻は主力に別れて南下す



(第五圖) 我主力は既に敵の先方に出でたるより敵は我第二戰隊の艦尾を旋廻して北方に進まんと針路を變ず我も同じく圓の如く一齊廻轉して直に敵の前路を壓し三千米突乃至四千メートルの近距離に接近して益々猛撃す敵は多大の損害を受けて陣形を亂し東方に變針し再び北方に逃んとす又第三四戰隊は快速力を利用して敵の

(第六圖) 敵は三時二十五分再び北方に針路を轉ず我も圖の如く一齊廻轉し敵の前方を遮り盡く南東に壓迫す敵は北走を断念して更に南方に變針す此時我主力は一時敵を見失ひ第二戦隊を先頭に索敵南下す、是先第四第三驅逐及千早は敵の旗艦「スワロン」を襲撃して去る又た南方

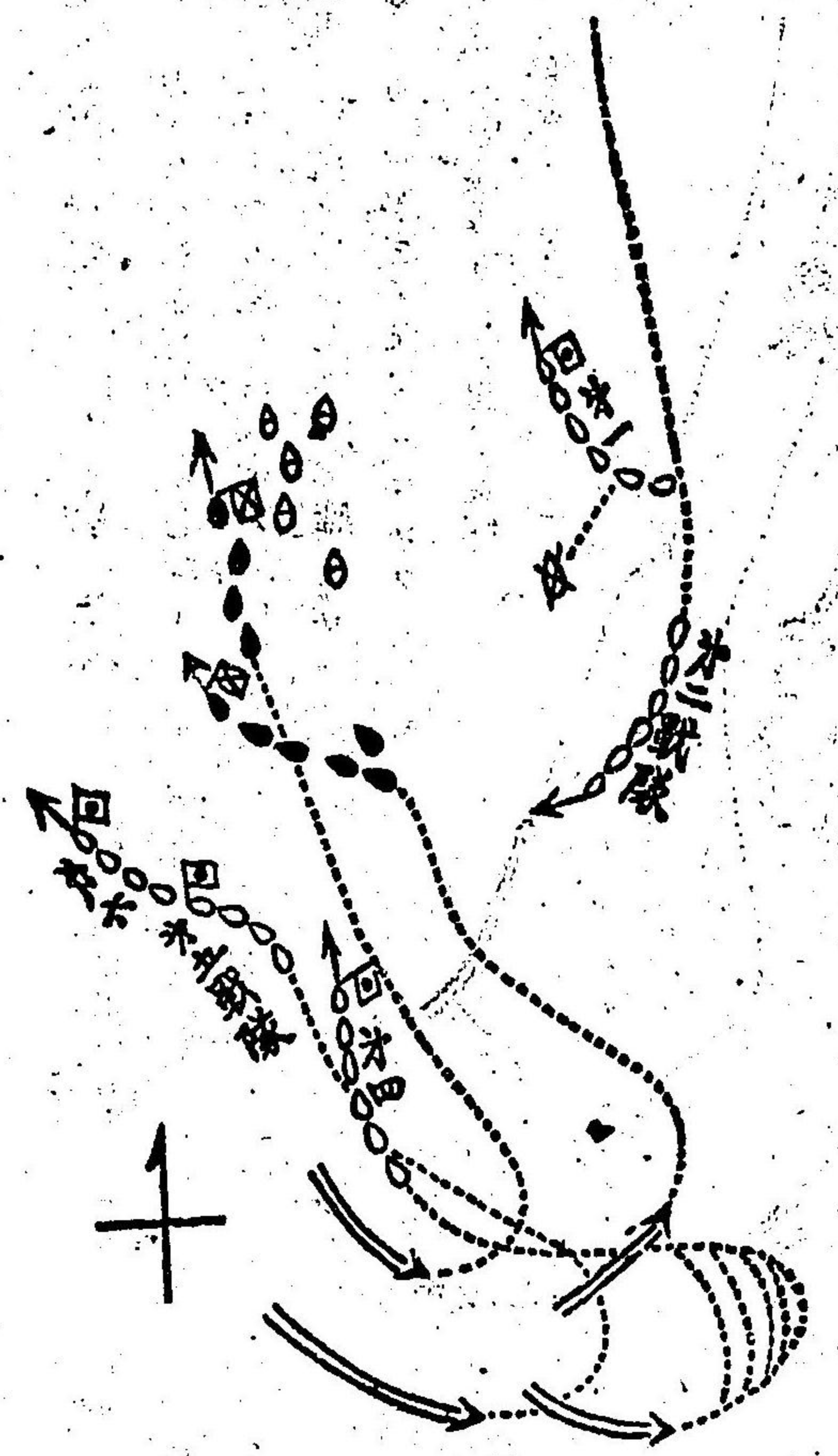


の第三第四戦隊は敵を南東に追撃して混亂せしむ此時敵の戦艦一隻海防艦二隻は南下し、來りて巡洋艦に協力し又我第五第六戦隊も來り合せしより頗る劇戦となり敵の特務艦「マナジュール」及驅逐艦二隻を撃沈し我空

母も損害を受け千歳と共に列外に出づ

(第七圖)

我主力艦隊は敵を一時見失ひしを以て一直線に南下して索敵し第一戦隊は更に北方に轉針して敵を求め第二戦隊は別に南に西に索敵す即ち圖の如く又南方の第三戦隊は笠置千歳を缺きしを以て第四戦隊に編入し第五六戦隊と協力して猛撃す敵は多大の損害を蒙り陣形を亂して北走す此時我主力と別て南下し來りし第二戦隊も敵敵を發見し我巡洋艦隊と猛撃の姿勢となる敵は群をなして北方に敗走す

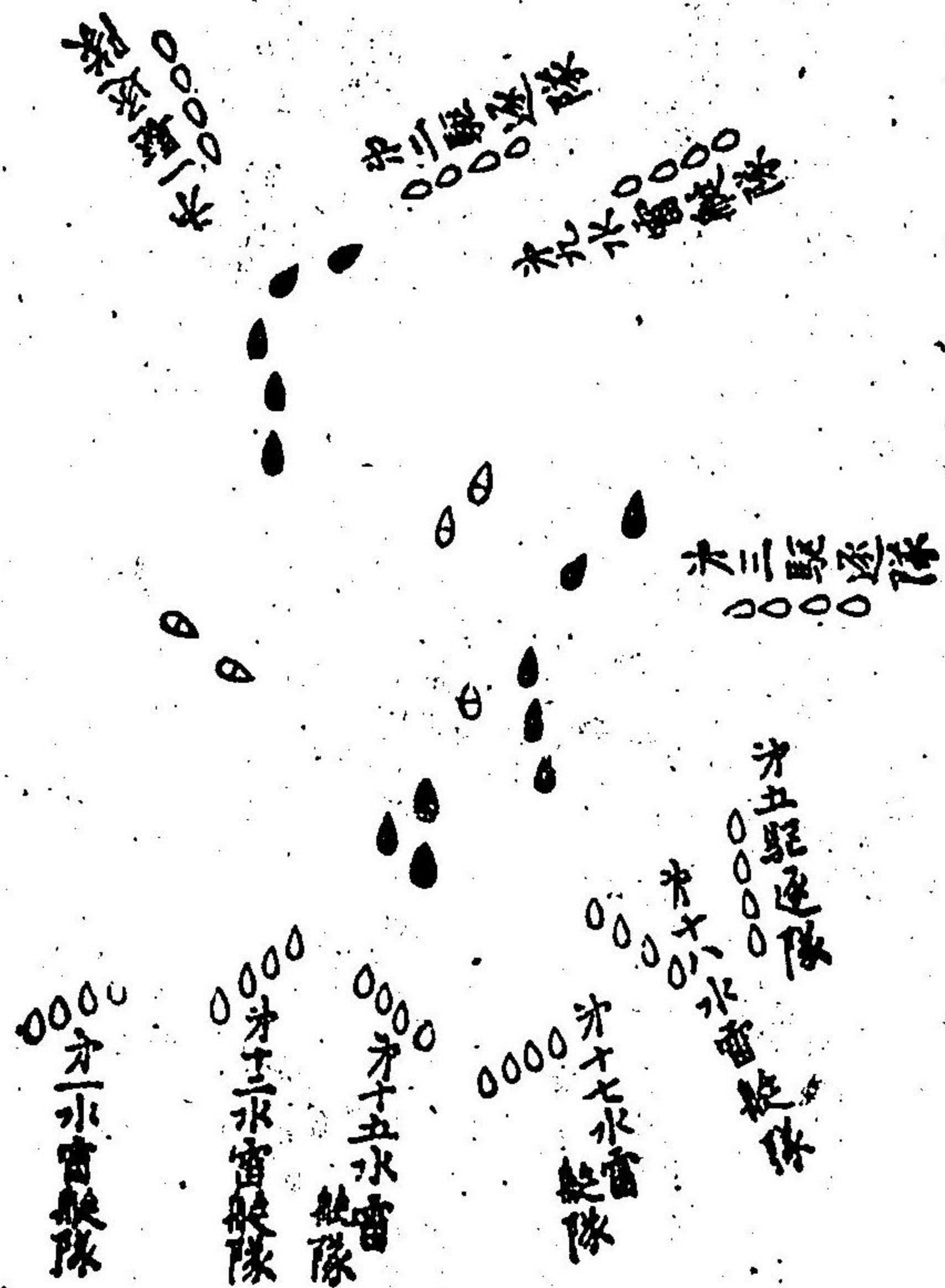


(第八圖) 第一戰隊は第二戰隊と別れて北方に索敵しつゝ近距離に孤立せし「ウラル」を撃沈し
 向北進の途上敵の主力を撃見し並行戦をなしつゝ敵を北西に壓迫し「ボロジン」を撃沈す、第二
 戰隊は敵の巡洋艦を追撃しつゝ第一戰隊の方向に進み來り敵主力の後方より艦尾を狭撃す又第
 四第五第六戰隊は共に敗敵を追撃しつゝ「スワロフ」を撃沈し「カムチャツカ」を撃沈す又「スワロフ」は水雷
 艇に撃沈さる此時正に日没なりしを以て東郷
 司令長官は全艦隊を對陵島に引揚げ夜襲を果
 逐水雷に任せたり



廿七日夜襲 (一)

廿七日日没後驅逐艦水
 雷艇の夜襲は圖の如く
 我艦隊の去るを待兼ね
 北東南の三方より三面
 包圍の形を以て敵艦に
 肉薄し來り第二驅逐艦
 が八時頃突進して敵に
 一撃を加へたるを初め
 として齊しく三方より
 突進する時の陣形なり



廿七日夜戦 (二)

廿七日の夜戦を示したるものなれども夜間斯の如き大亂戦に至りては正しき圖解を製するに困難なりとす故に他の圖よりも正確を缺ぐの點あるやも知れず

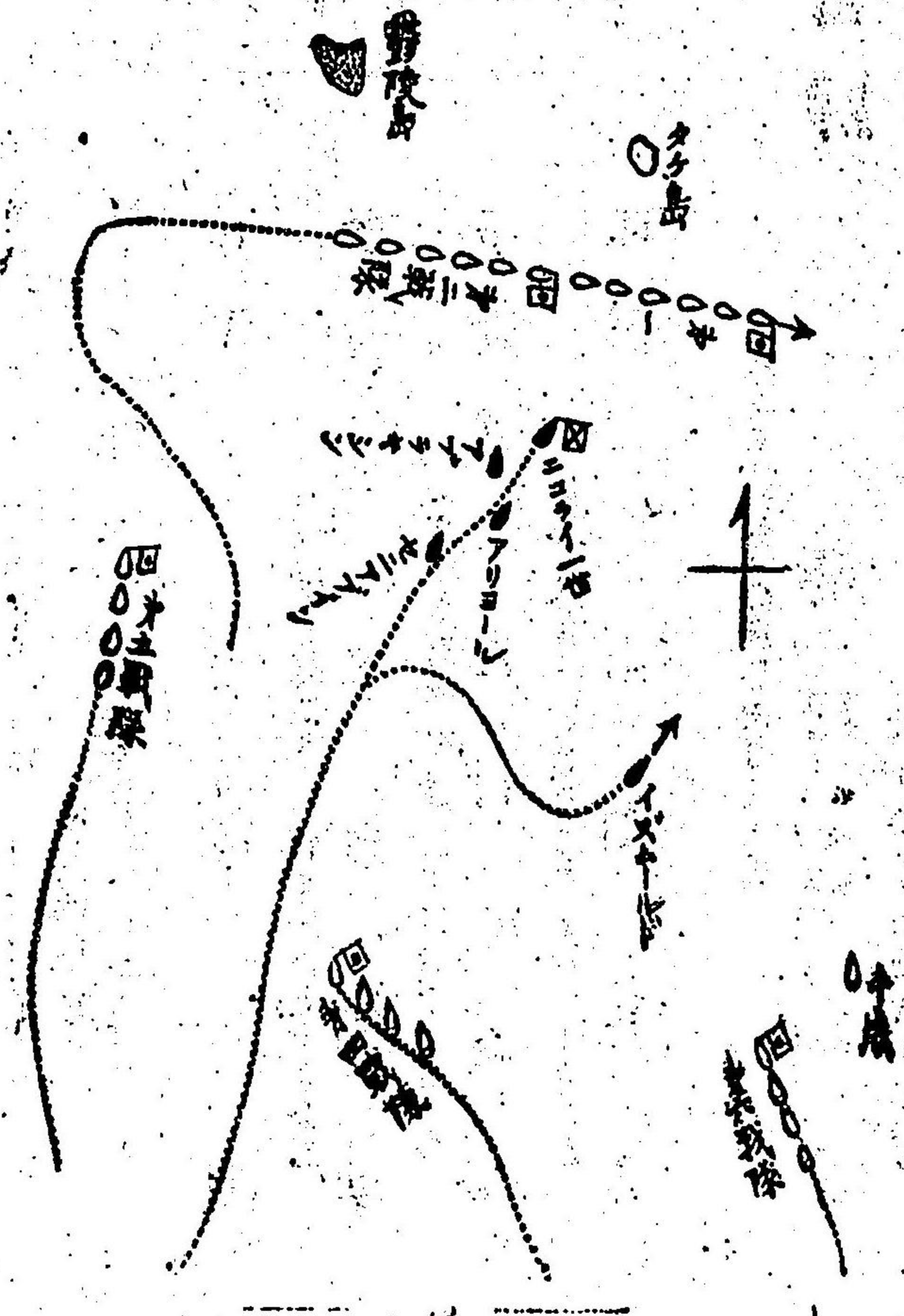
此の襲撃に於て我艦隊水雷艇の奮戦は敵に多大の損害と致命傷を蒙らしめたと同時に我も又た三隻を失ひたり



敵艦降伏當時の圖

五月廿八日敵艦四隻降伏す當時の彼我艦列圖の如く

「イズムールド」は優速を利用して東に向ひ逃走す之れ日本海大海戦の終りとす



明治四十三年十一月十二日印刷
明治四十三年十一月十五日發行

定價金四拾錢



日露戰爭談第十編

著者 美 當 一 調

發行者 此 村 庄 助

印刷者 吉 村 源 次 郎

印刷所 山 田 元 吉

大阪市南區心齋橋通順慶町北へ入

此 村 欽 英 堂

電話南千七百八十六番
通口座大阪千〇三六番

發行書肆

265
439

